

幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識 3

－設置者・施設種別分析－

松尾 智則

Kindergarten consciousness in kindergarten teaching practice 3

Tomonori Matsuo

(2020年11月25日受理)

はじめに

本稿はプロジェクト研究『幼稚園教育実習の現状と幼稚園教諭養成の課題【平成29年度～平成30年度】』及び『幼稚園教育実習の現状と幼稚園教諭養成の課題2【平成31年度～令和2年度】』に基づく幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識調査の第3次調査の結果についての報告である。

第1次調査(福岡県)、第2次調査(佐賀県・大分県)については、『幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識』(注1)及び『幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識2』(注2)にまとめているのでそちらを参照されたい。なお、表題を幼稚園の意識としているが、幼稚園教育実習が制度的に実施可能な幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園を調査の対象としている。

本稿では第3次調査で回収した調査票の内容の内、選択肢形式で回答を求めた項目について認定こども園と幼稚園の差異、学校法人立等と社会福祉法人立との間に差異が見られるかを分析することを目的とする。

1. 調査対象及び方法

調査対象としたのは、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県内の幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園である。全国学校総覧や各県で作成・公表している認定こども園一覧やインターネットでの検索で名簿を作成し、合計951園(長崎県205園、熊本県212園、宮崎県206園、鹿児島県328園)に郵送法で調査票を送付した。有効回収数は384件であった。但し、名簿の不備で既に閉園していた園などが26園あり、その他にも社会福祉法人立の幼保連携型こども園などで実習

生受け入れ経験なしなどとして無回答での返信があった園が40園あった。従って、実質的な調査対象園は884園となり、実質的な回収率は43.6%であった。

次に調査票を回収できた385園の属性を表1、表2(県別・設置者別)、表3(県別・施設種別)に示す。

表1園の属性 実数(構成比%)

	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	計
国公立	53(13.8)	3(0.8)	2(0.5)	58
学校法人立	71(18.5)	74(19.3)	75(19.5)	220
社会福祉法人立	0(-)	6(1.6)	99(25.8)	105
その他	1(0.3)	0(-)	0(-)	1
無回答	0(-)	1(0.3)	0(-)	1
計	125	84	176	385

表2園の属性2(県別・設置者別) 実数(県別構成比%)

	長崎県	熊本県	宮崎県	鹿児島県	計
国公立	12(14.6)	14(16.1)	5(5.2)	27(22.5)	58
学校法人立	49(59.8)	41(47.1)	68(70.8)	62(51.7)	220
社会福祉法人立	20(24.4)	32(36.8)	22(22.9)	31(25.8)	105
その他	1(1.2)	0(-)	0(-)	0(-)	1
無回答	0(-)	0(-)	1(1.0)	0(-)	1
計	82	87	96	120	385

表3園の属性3(県別・施設種別) 実数(県別構成比%)

	長崎県	熊本県	宮崎県	鹿児島県	計
幼稚園	24(29.3)	29(33.3)	25(26.0)	47(39.2)	125
幼稚園型認定こども園	16(19.5)	16(21.8)	34(35.4)	18(15.0)	84
幼保連携型認定こども園	42(51.2)	42(48.3)	37(38.5)	55(45.8)	176
計	82	87	96	120	385

執筆者紹介：中村学園大学短期大学部幼児保育学科

別刷請求先：松尾智則，〒814-0198 福岡県福岡市城南区別府 5-7-1 tmtsuo@nakamura-u.ac.jp

今回の調査に至る経緯として第1次調査(福岡県)においては、名簿作成の過程で認定こども園の占める比率は極めて低いものであった。第2次調査(佐賀県・大分県)の名簿作成の際には特に大分県において認定こども園の数の増加がみられること及びその中で社会福祉法人立の認定こども園が目につくようになっていた。更に本調査の名簿作成において社会福祉法人立の認定こども園が大幅に増えてきていることが明らかになった。従って、今後の幼稚園教育実習の実施に際して認定こども園、特に社会福祉法人立の認定こども園が重要な位置を占めることになると想定された。そして本調査ではあくまで回収できた調査票に占める割合であるが、社会福祉法人立の認定こども園が全体の約27%を占めていた。更に、幼稚園教育実習の経験がないために回答を保留している社会福祉法人立の認定こども園が40園近く存在する。このことを考えると幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園の幼稚園教育実習に対する意識の違いや国公立、学校法人立、社会福祉法人立の園における幼稚園教育実習に対する意識の違いの実態を早急に明らかにする必要があると思われる。但し、回収数の限界から県別・設置者別の分析や県別・学校種別の分析には限界があると思われるので、本稿では従来の報告において行っていた、県別分析は別稿に譲り、選択肢形式で質問した項目について国公立・学校法人・社会福祉法人別と幼稚園・幼稚園型認定こども園・幼保連携型認定こども園別の観点で整理してその特徴を明らかにする。

2. 幼稚園教育実習の実習内諾依頼について

設置者別の幼稚園教育実習内諾依頼についての質問回答結果が表4で、学校種別の質問回答結果が表4-1である。設置者別に見ると、前学期については、学校法人立と社会福祉法人立はほぼ似た傾向で8割以上が『今のままで良い』と現状を肯定しているが、若干社会福祉法人立の方が『もう少し遅い方が良い』と言う要望が強い。これは社会福祉法人立が多い幼保連携型こども園でも同じ傾向となっている。これと比べると国公立は『もう少し早い方が良い』や『もう少し遅い方が良い』へと広がりが見られ、個別の園の要望が広がっている。後学期については、特に国公立で広がりが見られるが、前倒しへの広がり見られることが特徴として挙げられる。個別の園との話し合いの経験を踏まえると公立の場合、次年度計画を作成する際に実習の有無も含むことがあるとのことなので、そのような事情が反映されているのではないかと推測される。なお、幼稚園型認定こども園と幼保連携型認定こども園ではあまり差は無いようであった。

表4.幼稚園教育実習依頼時期 実数(構成比%)

		国公立	学校法人	社会福祉法人	その他	無回答
前学期	もう少し早い方が良い	7(12.1)	12(5.5)	1(1.0)	0(-)	0(-)
	今のままで良い	42(72.4)	187(85.0)	88(83.8)	1(100.0)	0(0.0)
	もう少し遅い方が良い	7(12.1)	17(7.7)	13(12.4)	0(-)	1(100.0)
	わからない	2(3.4)	3(1.4)	3(2.9)	0(-)	0(-)
	無回答	0(-)	1(0.5)	0(-)	0(-)	0(-)
計	58	220	105	1	1	
後学期	もう少し早い方が良い	14(24.1)	20(9.1)	7(6.7)	0(-)	0(-)
	今のままで良い	34(58.6)	178(80.9)	81(77.1)	1(100.0)	1(100.0)
	もう少し遅い方が良い	9(15.5)	18(8.2)	13(12.4)	0(-)	0(-)
	わからない	1(1.7)	3(1.4)	4(3.8)	0(-)	0(-)
	無回答	0(-)	1(0.5)	0(-)	0(-)	0(-)
計	58	220	105	1	1	

設問 Q1-1.前学期幼稚園教育実習(5月末から6月)内諾依頼の時期(10月末から12月)は

設問 Q1-2.後学期幼稚園教育実習(10月)内諾依頼の時期(1月から3月)は

表4-1.幼稚園教育実習依頼時期 実数(構成比%)

		幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園
前学期	もう少し早い方が良い	12(9.6)	4(4.8)	4(2.3)
	今のままで良い	99(79.2)	72(85.7)	148(84.1)
	もう少し遅い方が良い	11(8.8)	6(7.1)	20(11.4)
	わからない	3(2.4)	1(1.2)	4(2.3)
	無回答	0(-)	1(1.2)	0(-)
計	125	84	176	
後学期	もう少し早い方が良い	20(16.0)	7(8.3)	14(8.0)
	今のままで良い	87(69.6)	68(81.0)	140(79.5)
	もう少し遅い方が良い	15(12.0)	7(8.3)	18(10.2)
	わからない	3(2.4)	1(1.2)	4(2.3)
	無回答	0(-)	1(1.2)	0(-)
計	125	84	176	

設問 Q1-1.前学期幼稚園教育実習(5月末から6月)内諾依頼の時期(10月末から12月)は

設問 Q1-2.後学期幼稚園教育実習(10月)内諾依頼の時期(1月から3月)は

3. 事前事後指導等について

養成校で行う幼稚園教育実習の事前事後指導の各項目に対してどのように認識しているかの回答結果を整理したのが表5(設置者別)と表5-1(施設種別)である。本項目についてはウェート付けを行い指標化することで比較しやすいものになっている。設置者別でも施設種別でも第一位と第二位は『実習生としての心構え・役割に関する知識』『保育者としての心構え・役割に関する知識』である。興味深いのは、設置者別の学校法人や社会福祉法人と全施設種別で第3位は『社会人としての心構えと行動に関する知識』となっているにもかかわらず、国公立では『指導案の書き方』が選ばれている。また、『日誌の書き方』も『社会人としての心構えと行動に関する知識』と同様の値となっている。その他、全12項目のうち8項目で『国公立>学校法人>社会福祉法人』の値を示している。また、施設種別でも9項目で社会福祉法人立が最下位となっており、養成校の行う事前事後指導に対する関心が低いことが窺われる。

表5.事前事後指導内容の重要度

実数

	非常に重要			重要			あまり重要ではない			重要ではない			ウェイト			
	国公立	学校法人	社会福祉法人	国公立	学校法人	社会福祉法人	国公立	学校法人	社会福祉法人	国公立	学校法人	社会福祉法人	国公立	学校法人	社会福祉法人	計
保育者としての心構え・役割に関する知識	37	147	60	21	72	42	0	1	2	0	0	0	3.64	3.66	3.56	3.63
実習生としての心構え・役割に関する知識	47	148	63	11	71	38	0	1	3	0	0	0	3.81	3.67	3.58	3.66
社会人としての心構えと行動に関する知識	29	137	57	27	78	43	2	5	3	0	0	1	3.47	3.60	3.50	3.55
指導案の書き方	60	50	20	25	148	63	2	22	18	1	0	3	3.64	3.13	2.96	3.19
日誌の書き方	30	46	16	26	150	65	1	23	20	1	1	3	3.47	3.10	2.90	3.10
幼児指導の具体的留意点	23	66	24	32	133	70	2	20	10	1	0	0	3.33	3.21	3.13	3.21
実習の流れについての見直し	14	36	10	37	143	75	6	40	19	1	0	0	3.10	2.98	2.91	2.98
事前準備についての知識	14	41	16	36	140	70	7	37	17	1	1	0	3.09	3.01	2.99	3.02
友達の報告(情報の共有)	3	12	5	27	79	38	25	116	54	3	12	5	2.52	2.42	2.42	2.43
先輩の作品集(先輩との情報共有)	4	11	4	26	88	36	25	110	56	3	11	6	2.53	2.45	2.37	2.44
先輩の実習記録(モデル理解)	4	18	5	34	98	41	17	94	52	3	10	4	2.67	2.56	2.46	2.55
手遊びのビデオとプリント(保育実技体験)	10	36	16	33	131	55	13	49	30	2	4	2	2.88	2.90	2.83	2.88

設問 Q2-1.事前事後指導内容に関してどのような項目が重要と思われるか貴園のお考えは如何でしょうか。番号をお選びください。

注)ウェイトとは「非常に重要」を4点、「重要」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要でない」を1点として国公立、学校法人立、社会福祉法人立の全回答者(無回答者を除く)の平均値

表5-1.事前事後指導内容の重要度

実数

	非常に重要			重要			あまり重要ではない			重要ではない			ウェイト		
	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園
保育者としての心構え・役割に関する知識	83	59	103	42	23	70	0	0	3	0	0	0	3.66	3.72	3.57
実習生としての心構え・役割に関する知識	90	61	108	34	21	65	1	0	3	0	0	0	3.71	3.74	3.60
社会人としての心構えと行動に関する知識	69	50	104	53	32	64	3	0	7	0	0	1	3.53	3.61	3.54
指導案の書き方	41	21	39	72	52	112	11	9	22	1	0	3	3.22	3.15	3.06
日誌の書き方	40	19	34	72	53	116	12	9	23	1	1	3	3.21	3.10	3.03
幼児指導の具体的留意点	40	26	48	72	50	113	11	6	15	1	0	0	3.22	3.24	3.19
実習の流れについての見直し	20	18	22	81	50	125	23	14	28	1	0	0	2.96	3.05	2.97
事前準備についての知識	23	19	30	79	47	120	21	15	25	1	1	0	3.00	3.02	3.03
友達の報告(情報の共有)	6	5	9	51	32	61	61	41	94	6	4	10	2.46	2.46	2.40
先輩の作品集(先輩との情報共有)	7	3	2	49	35	66	63	41	88	6	3	11	2.46	2.46	2.35
先輩の実習記録(モデル理解)	9	6	12	60	39	74	52	33	79	4	4	9	2.59	2.57	2.51
手遊びのビデオとプリント(保育実技体験)	20	15	28	76	43	100	27	23	42	2	1	5	2.91	2.88	2.86

設問 Q2-1.事前事後指導内容に関してどのような項目が重要と思われるか貴園のお考えは如何でしょうか。番号をお選びください。
注)ウェイトとは「非常に重要」を4点、「重要」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要でない」を1点として国公立、学校法人立、社会福祉法人立の全回答者(無回答者を除く)の平均値

表6.実習体験内容の重要度

実数

	非常に重要			重要			あまり重要ではない			重要ではない			ウエイト				
	国立	学校法人	社会福祉法人	国立	学校法人	社会福祉法人	国立	学校法人	社会福祉法人	国立	学校法人	社会福祉法人	国立	学校法人	社会福祉法人	計	
前学期	全日保育	14	43	12	26	81	32	11	79	49	6	16	9	2.84	2.69	2.46	2.65
	半日保育	7	44	9	30	90	37	15	74	48	5	11	7	2.68	2.76	2.48	2.67
	朝の会や帰りの会	14	45	6	37	132	41	5	40	46	1	2	9	3.12	3.00	2.43	2.87
	主活動の部分だけの指導(設定保育)	18	73	24	29	108	45	9	37	26	1	1	6	3.12	3.16	2.86	3.07
	給食だけの指導	12	33	9	32	118	43	13	62	40	1	5	9	2.95	2.82	2.51	2.76
	絵本読みや指遊びなど一部の指導	22	66	20	32	135	70	2	15	10	1	1	2	3.32	3.23	3.06	3.19
後学期	全日保育	18	82	17	27	86	42	8	42	35	2	5	8	3.11	3.14	2.67	3.01
	半日保育	8	68	15	35	104	39	9	39	40	3	4	7	2.87	3.10	2.61	2.93
	朝の会や帰りの会	16	60	11	36	132	50	3	22	33	1	1	8	3.20	3.17	2.63	3.02
	主活動の部分だけの指導(設定保育)	23	95	32	30	102	48	2	18	18	1	0	4	3.34	3.36	3.06	3.27
	給食だけの指導	16	50	11	31	130	52	9	33	31	1	2	7	3.09	3.06	2.66	2.96
	絵本読みや指遊びなど一部の指導	21	74	25	31	128	65	4	12	9	1	1	2	3.26	3.28	3.12	3.23

設問 Q4.実習体験内容に関してどのような項目が重要と思われるか貴園のお考えはいかがですか。
注)ウエイトとは「非常に重要」を4点、「重要」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要でない」を1点として国立、学校法人立、社会福祉法人立の全回答者(無回答者を除く)の平均値

表6-1.実習体験内容の重要度

実数

	非常に重要			重要			あまり重要ではない			重要ではない			ウエイト			
	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	
前学期	全日保育	25	19	25	48	35	56	40	24	76	10	4	17	2.72	2.84	2.51
	半日保育	17	23	20	60	35	63	39	21	77	7	3	13	2.71	2.95	2.52
	朝の会や帰りの会	27	19	19	80	47	83	14	15	63	3	0	9	3.06	3.05	2.64
	主活動の部分だけの指導(設定保育)	36	30	50	70	36	76	16	15	41	2	0	6	3.13	3.19	2.98
	給食だけの指導	18	19	17	74	41	78	30	20	65	2	1	12	2.87	2.96	2.58
	絵本読みや指遊びなど一部の指導	35	28	46	83	45	109	5	7	15	1	1	2	3.23	3.23	3.16
後学期	全日保育	41	36	41	52	34	69	23	11	51	4	0	11	3.08	3.31	2.81
	半日保育	29	30	33	63	39	76	24	12	52	4	0	10	2.98	3.22	2.77
	朝の会や帰りの会	36	24	27	77	43	98	7	13	39	2	0	8	3.20	3.14	2.84
	主活動の部分だけの指導(設定保育)	45	35	70	70	34	77	6	11	21	1	0	4	3.30	3.30	3.24
	給食だけの指導	29	25	23	73	41	99	20	13	41	1	1	8	3.06	3.13	2.80
	絵本読みや指遊びなど一部の指導	40	28	53	77	43	104	5	8	12	1	1	2	3.27	3.23	3.22

設問 Q4.実習体験内容に関してどのような項目が重要と思われるか貴園のお考えはいかがですか。
注)ウエイトとは「非常に重要」を4点、「重要」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要でない」を1点として国立、学校法人立、社会福祉法人立の全回答者(無回答者を除く)の平均値

4. 実習体験内容

実習中の様々な指導体験に関する評価についての回答を集計したものが表6(設置者別)、表6-1(施設種別)である。まず、全体としては、設置者別と施設種別の両者において前学期よりも後学期の方が指導的な実習体験を重視している様子が窺える。また、『幼稚園教育実習

に関する幼稚園の意識』で指摘している様に『主活動』や『絵本読みや指遊びなど一部の指導』の占めるウエイトが今回においても高いことが分かる。更に気になる事は設置者別で見ると『社会福祉法人立』が前学期においても後学期においても全ての項目で重視度が明らかに低く出ている。また、施設種別でも社会福祉法人立が半数以上を占めている幼保連携型認定こども園でも同様の傾向がみられる。

表7.望ましい登園時間と降園時間

実数

登園	時間帯	7:00	7:30	7:40	7:45	7:50	8:00	8:10	8:15	8:20	8:30	9:00					
	国公立		0	0	1	3	0	38	1	7	1	4	0				
学校法人		1	20	2	7	3	145	0	3	1	28	5					
社会福祉法人		0	0	0	0	1	54	0	2	4	32	5					
降園	時間帯	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	16:45	16:50	16:55	17:00	17:10	17:15	17:20	17:30	18:00	18:30	
	国公立	0	0	0	1	8	8	0	1	31	0	2	0	1	0	0	
	学校法人	1	1	2	14	28	4	2	0	148	1	0	2	10	1	1	
	社会福祉法人	0	1	0	2	5	0	0	0	60	0	3	0	24	3	0	

設問 Q7基本的登園時間と降園時間は何時頃が望ましいとお考えでしょうか。

表7-1.望ましい登園時間と降園時間

実数

登園	時間帯	7:00	7:30	7:40	7:45	7:50	8:00	8:10	8:15	8:20	8:30	9:00					
	幼稚園	1	8	2	6	1	79	1	8	1	11	3					
	幼稚園型認定こども園	0	6	0	3	2	53	0	1	1	13	2					
	幼保連携型認定こども園	0	7	1	1	1	105	0	3	4	41	5					
降園	時間帯	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	16:45	16:50	16:55	17:00	17:10	17:15	17:20	17:30	18:00	18:30	
	幼稚園	1	1	1	7	19	9	0	1	74	1	2	2	3	0	0	
	幼稚園型認定こども園	0	0	0	7	10	3	2	0	54	0	0	0	4	1	0	
	幼保連携型認定こども園	0	1	1	3	13	0	0	0	112	0	3	0	31	3	1	

設問 Q7基本的登園時間と降園時間は何時頃が望ましいとお考えでしょうか。

5. 実習中の登降園時間について

登降園の時間帯は実習園の職員の勤務時間帯の特徴と実習生の位置づけ(職員同等の勤務時間を求めるか特に実習生として指定した勤務時間帯を求める)によって変わって来ると考えられる。園が考える登降園時間に関する回答を整理したものが、表7(設置者別)と表7-1(施設種別)である。登園時間は全体では7時から9時の間でピークは8時となっている。設置者別では、学校法人立は登園時間の幅が広く、園ごとに多様となっているが、国公立は少しそれよりも幅が狭く、社会福祉法人立は概ね8時以降となっている。

降園時間は午後2時半から午後6時半の間で、ピークは午後5時となっている。ここでもやはり学校法人の降園時間の幅が一番広く、ついで、社会福祉法人、国公立の順となっている。施設種別でも登園時間では一番幅が広く前倒しになっている。降園時間も標準保育時間の違いを反映して幼稚園の降園時間の幅が一番大きくなってい

る。ただし、幼稚園型認定こども園より幼保連携型認定こども園の方が少し遅くなっている。

このことは学校法人立の園は多くの場合、スクールバスを運用している結果、職員の登園時間が早くなっていることに対応していることが考えられる。つまり、職員と同等の勤務時間体験を念頭においていることが想像できる。また、幼保連携型認定こども園の方が降園時間が遅いのは他のタイプに比べてより多くの園児が夕刻まで在園していることに対応してのことと思われる。したがって、これらの状況から、実習生には職員に準じる勤務時間が期待されているのではないかと考えられる。

表8.日誌添削後の指導

実数(構成比%)

	国公立	学校法人立	社会福祉法人立	その他	無回答
添削に基づく削除(消去)・修正を求める	41(70.7)	147(66.8)	77(73.3)	1(100.0)	1(100.0)
特に指導しない	12(20.7)	46(20.9)	21(20.0)	0(-)	0(-)
無回答	5(8.6)	27(12.3)	7(6.7)	0(-)	0(-)
計	58	220	105	1	1

設問 Q11-2日誌添削後指導の指導についてどのように

表8-1.日誌添削後の指導

実数(構成比%)

	幼稚園	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園
添削に基づく削除(消去)・修正を求める	79(63.2)	61(72.6)	127(72.2)
特に指導しない	30(24.0)	15(17.9)	34(19.3)
無回答	16(12.8)	8(9.5)	15(8.5)
計	125	84	176

設問 Q11-2日誌添削後指導の指導についてど

6. 日誌添削後の指導について

日誌添削後の指導についての園の回答を整理したものが表 8(設置者別)と表 8-1(施設種別)である。今回のアンケートの中で無回答が一番多かった項目である。無回答を除いて再集計すると概ね7割が『添削に基づく削除(消去)・修正を求める』としているが、幼稚園や学校法人では若干低い傾向が見られる。また、無回答者の比率が非常に高いことを考えるとその意味について、今後さらなる検討が必要かもしれない。

おわりに

今回、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県について設置者別と施設種別の分析を行った。

その結果として実習園の養成校での事前指導に対する意識が設置主体ごとや施設種ごとに違っており、特に社会福祉法人立や幼保連携型認定こども園においては従来の幼稚園や学校法人立とは明らかに違っている。意識の違いは当然実習の実態に反映することになる。その一つが各種の指導実習に対する重視度の低さとなって表れている。

認定こども園制度の拡大と幼稚園から認定こども園への改組に対応して、文部科学省が指針を示した方向に従って幼稚園教育実習を幼稚園以外に幼稚園型認定こども園と幼保連携型認定こども園に拡大実施してきた。認定こども園では幼稚園児同等の『1号子ども』を対象として幼稚園と同様の教育実習が展開されているものとして実習に送り出してきたが、社会福祉法人立の幼保連携型認定こども園の拡大に伴って、従来から想定していた教育実習とは違ったものが行われているのではないかと感じられる。それが教育実習の新しいスタンダードを作り出していくのかそれとも教育実習の実態の二極化につながるのか注視していく必要があるのではないかと今回の調査・分析から明らかになった。

謝辞

最後になりましたが、本調査に協力いただいた幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園の計385園の関係者の皆様、特に本学科とはご縁の薄い256園の皆様には公務御多忙の中、本調査に御協力頂きまことに有難うございました。

注

注 1 『幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識』 pp17-32 中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要第51号 2019

注 2 『幼稚園教育実習に関する幼稚園の意識 2』 pp11-28 中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要第52号 2020